

対象患者：小細胞肺癌
レジメン名：CDDP+ETP
1コースの日数：21日

催吐性リスク：高度
血管外漏出リスク
シスプラチン：報告なし
エトポシド：報告なし

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day								
						1	2	3	～	8	～	15	～	21
1	パロノセトロン デキサメタゾン	0.75mg 9.9mg	点滴静注	メインルート	30分	○								
2	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○	○	○						
3	エトポシド 5%ブドウ糖液	100mg/m ² 500mL	点滴静注	メインルート	1時間30分	○	○	○						
4	硫酸Mg補正液 維持液	4mEq 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○								
5	マンニトールS注射液®	150mL	点滴静注	メインルート	15分	○								
6	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m ² 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○								
7	生理食塩液	500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○								
8	硫酸Mg補正液 維持液	4mEq 500mL	点滴静注	メインルート	1時間	○								
9	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分		○	○						

点滴順序(day1)：Rp1→2→3→4→5→6→7→8

投与時間(day1)：6時間15分

点滴順序(day2,3)：Rp2→3→9

投与時間(day2,3)：1時間30分

備考：

エトポシド使用のため、フィルター付き専用ルートを使用する。

制吐剤として下記を内服する。

- ・アブレピタント125mg/day 分1(day1)、80mg/day 分1(day2-3)
- ・オランザピン5mg/day 分1(day1-4) *糖尿病既往の患者は使用禁止
- ・デキサメタゾン8mg/day 分2(day2-4)

シスプラチン投与終了までに1L程度の経口補液を患者に促す。

放射線治療施行中は28日毎行う。